2027年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2026年11月 9日
日本シイエムケイ株式会社（証券コード：6958）

ハイライト

■2027年 3月期上期連結業績実績

日系主要顧客向け販売順調

- 売上高　56,045 百万円（＋ 18.7%）
- 営業利益　1,920 百万円（＋328.5%）
- 経常利益　1,020 百万円（ - 6.6%）
- 当期純利益　470 百万円（ - 68.5%）

＊（）内は前年中間期増減率

■2027年 3月期通期業績予想

通期配当予想28円

- 売上高　110,000百万円（ ＋9.8%）
- 営業利益　5,000百万円（ ＋79.3%）
- 経常利益　4,700百万円（ ＋13.6%）
- 当期純利益　3,000百万円（ - 25.3%）
- 配当予想　28円（ ＋ 8円）

＊（）内は前期比増減率

■販売および受注状況

モビリティ領域・新領域の状況

- 日系車載プリント配線板の売上げ堅調
- 「パワートレイン」、「走行安全」の伸長
- 「統合ECU」、「ADAS」の伸長
- 新領域の期待市場と事業環境

■タイ工場 稼働率上昇/生産効率・歩留り向上

タイ工場の取り組み状況

- タイ工場の稼働率上昇
- 歩留り向上（自動化・メンテナンス強化）
- 生産効率の改善（生産計画策定強化）

1. 2027年3月期 上期実績

【単位：百万円】

	2026/3期上期実績	2027/3期上期実績	増減	増減率
売上高	47,212	56,045	＋8,833	＋18.7%
営業利益 （利益率）	448 (0.9%)	1,920 (3.4%)	＋1,472 (＋2.5%)	＋328.5%
経常利益	1,092	1,020	- 72	- 6.6%
親会社に帰属する当期純利益	1,492	470	- 1,022	- 68.5%
前提条件 平均為替レート	1USD 147.48 円	1USD 158.61 円	＋11.13	-

- ◆ 日系主要顧客向けの販売は順調に推移し、売上高は前年同期比 18.7%増加
- ◆ 統合ECUやADAS向けの売上増、タイ工場の稼働率上昇に伴い、営業利益は前年同期比 328.5%増加
- ◆ 対円でのバーツ高、対米ドル・対ユーロでの円安傾向等による為替の影響を受け、経常利益は前年同期比 6.6%減少
- ◆ 前年の特別利益、投資有価証券売却益の影響もあり、親会社に帰属する当期純利益は前年同期比68.5%の減少

1. 2027年3月期 上期実績

■第1四半期上方修正の背景

販売トップラインの向上

ADAS向け製品

自動運転・先進安全機能の
拡大に伴い、需要が堅調に推移



統合ECU

車両の各種制御を統合する
高付加価値製品の需要が拡大



統合ECU(イメージ)

タイ工場 稼働率上昇/生産性・品質向上

稼働率上昇

需要・販売拡大に伴う
稼働率の向上



CMK CORPORATION
(THAILAND) CO.,LTD.

歩留り向上

自動化・メンテナンス強化
による歩留り向上



生産性向上

生産計画策定強化による
生産性向上



◆日系車載の重点製品が着実に伸長

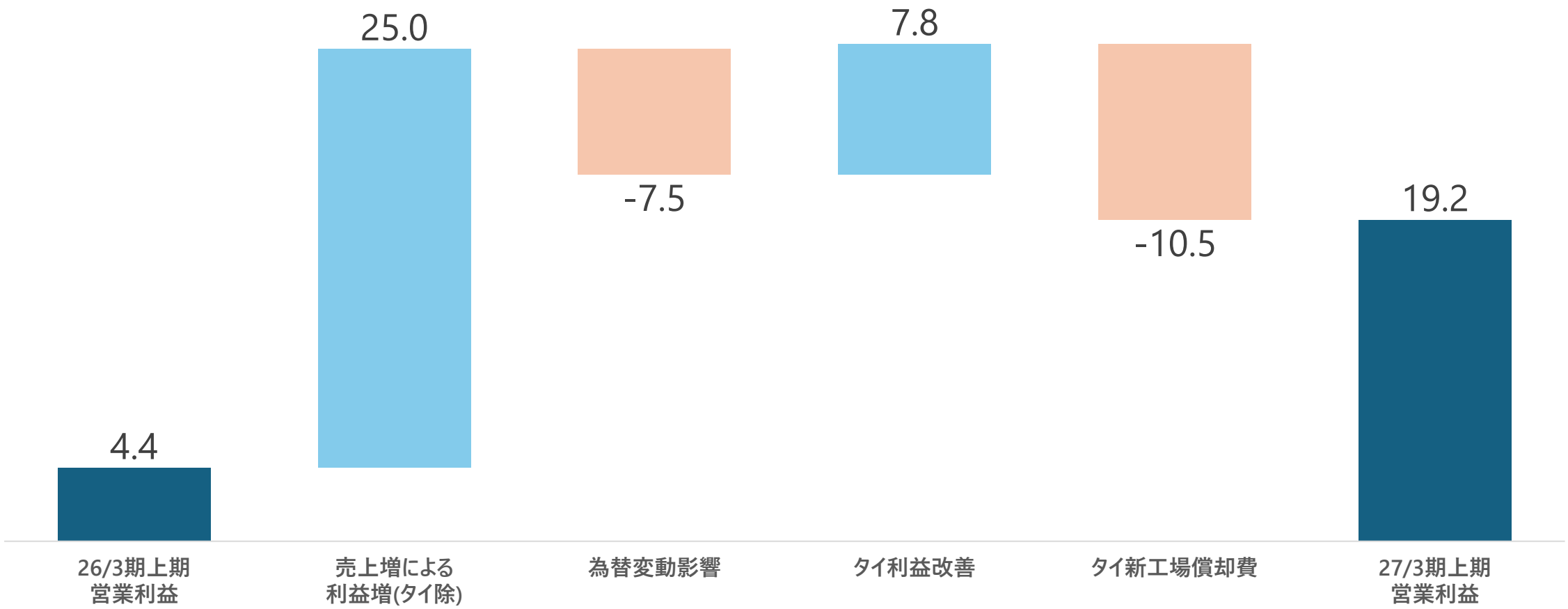
◆タイ工場の生産体制強化により歩留り・生産効率が向上



1. 2027年3月期 上期実績

■営業利益増減分析（YoY）

【単位：億円】



2. 2027年3月期 通期予想

【単位：百万円】

	2026/3期通期実績	2027/3期通期見通し	前期比	増減率
売上高	100,202	110,000	＋9,798	＋9.8%
営業利益 （利益率）	2,788 (2.8%)	5,000 (4.5%)	＋2,212	＋79.3%
経常利益	4,136	4,700	＋564	＋13.6%
親会社に帰属する当期純利益	4,026	3,000	-1,026	-25.3%
前提条件 平均為替レート	1USD 149.78 円	1USD 158.00 円	＋8.22	-
配当	20円	28円	+8円	-

◆日系主要顧客向けの販売は下期順調に推移する見通し

◆営業利益はタイ工場の原価改善により引き続き順調に推移し、通期見通しは十分達成可能な水準

◆為替の影響を受けるものの、営業利益増により、通期見通しの経常利益・当期純利益は十分達成可能な水準

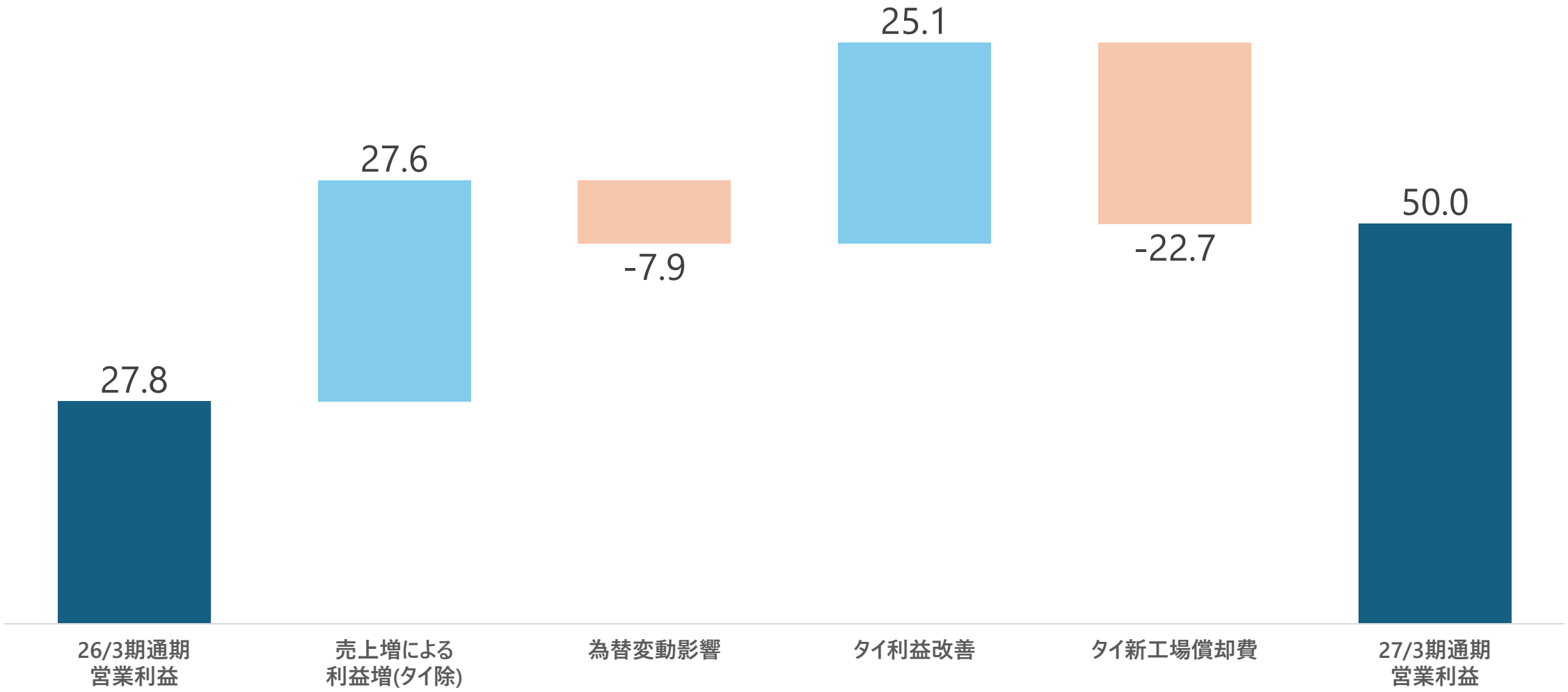
◆配当予想 28円となる見通し

通期見通し上期進捗率	
売上高	51%
営業利益	38%
経常利益	22%
当期純利益	16%

2. 2027年3月期 通期予想

■営業利益増減分析

【単位：億円】

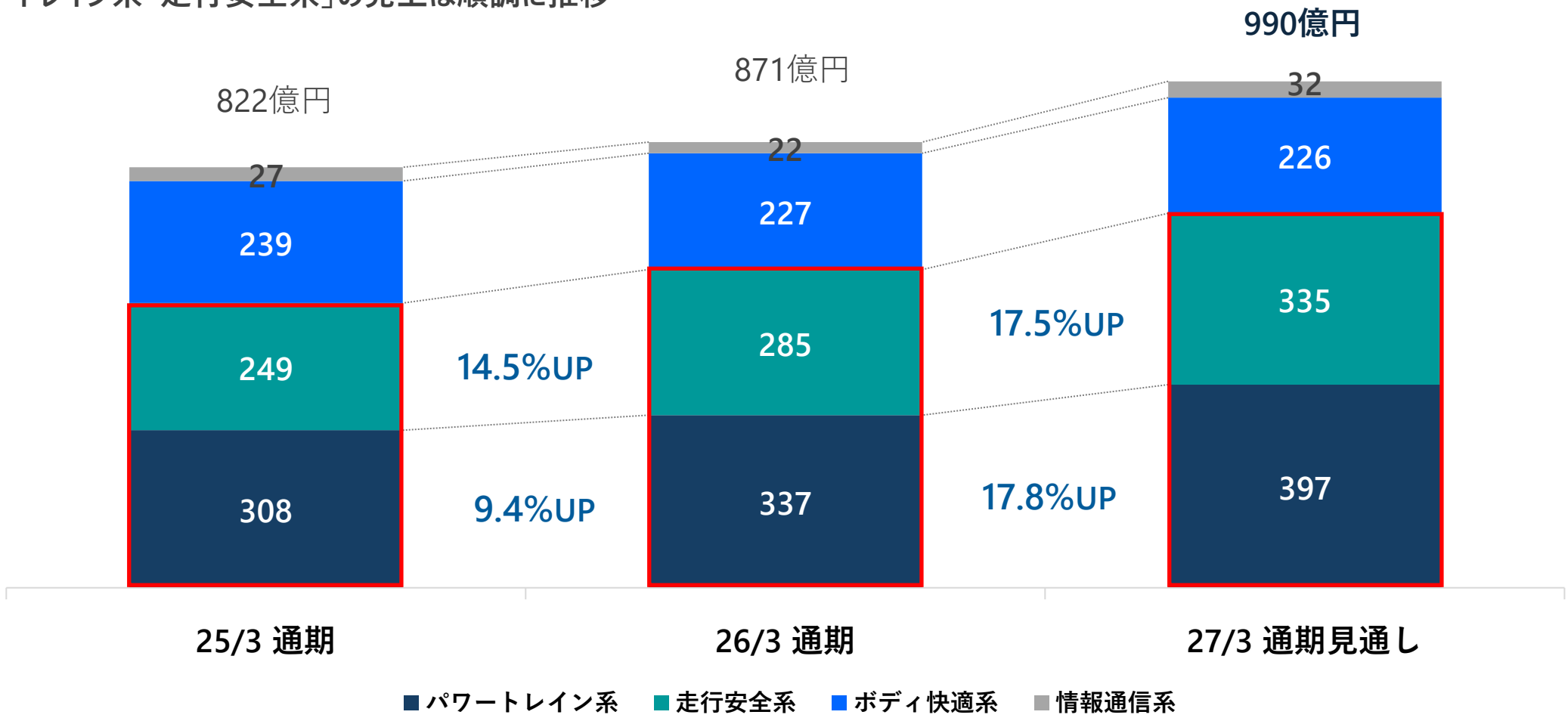


2. 2027年3月期 通期予想

■2027年3月期通期見通し 車載用途・車載基板種別売上比率

・車載自動運転機能の普及に伴い、
「パワートレイン系・走行安全系」の売上は順調に推移

（単位：億円）



3. 販売および受注状況 – モビリティ領域 –

■車載向けプリント配線板の取り組み

統合ECU

単位:億円

主な用途

自動運転制御　ADAS統合処理　車両ネットワーク (CAN/Ethernet)



ADAS向け製品

単位:億円

主な用途

車線維持支援 (LKA)　自動ブレーキ (AEB)　自動駐車 (APA)　死角検知 (BSM)



◆自動運転の実現に向けて、車載電子システムの高度化が加速
◆当社のプリント配線板は、ADAS向け製品と統合ECUにおいて、今後更なる需要の拡大が見込まれる

3. 販売および受注状況 －新領域－

『車載分野で培った品質・技術をいかし、成長投資分野に関連する顧客・用途への展開を目指す』

■新領域・成長見通し

成長期待市場


産業機器・AIロボティクス


次世代モビリティ・航空宇宙


半導体関連機器

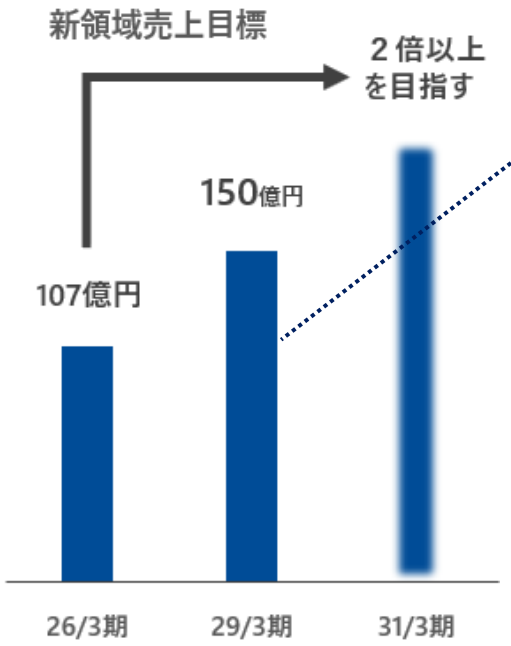

医療


通信

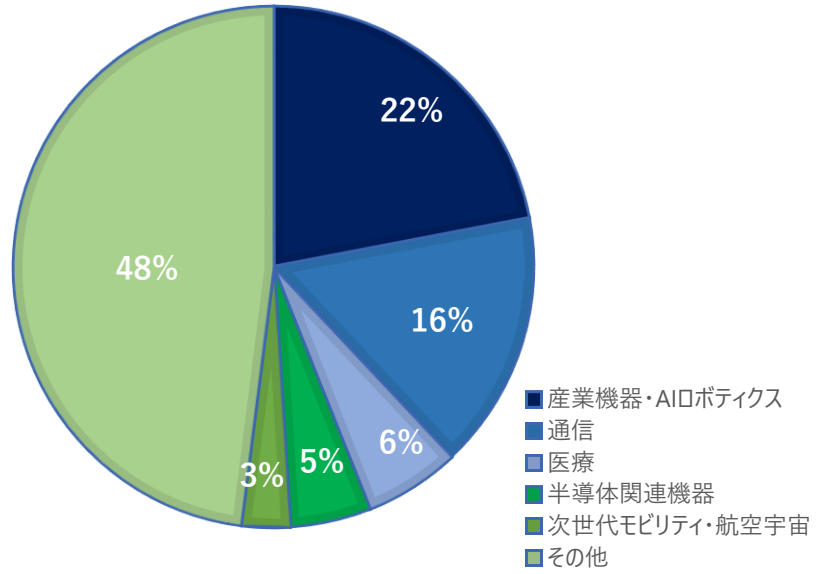
その他（アミューズメント、空調機器他）

CMKの強み

◆高信頼性・高品質
◆高密度配線技術
◆顧客要求に応じた技術・品質対応



29/3期見通し



◇新領域の事業環境
中期経営計画に掲げる29/3期(28年度)目標および
31/3期(30年度)の2倍以上の目標達成に向け、
受注見通しは年々高まりを見せている。

4. タイ工場の取り組み

■CMK CORPORATION(THAILAND)　利益貢献拡大の本格化

■稼働率向上

新工場は
材料調達状況を踏まえ
機動的な生産で稼働率を維持

前年度期末比

4月–6月　105%

7月–9月　228%

■品質向上

「自動化」
＋
「メンテナンス」

両輪で歩留りを改善

前年度期末比

歩留り　7 pt 改善

■生産効率改善

生産計画策定強化による
生産性改善

工程仕掛在庫の管理

当プレゼンテーションは、将来の見通しに関する記述が含まれております。
これらは、現時点で入手可能な情報および合理的と判断する前提に基づいて作成したものであり、
実際の業績や結果は、経済情勢の変化、市場動向、為替変動、競争環境の変化、各種リスク要因等により
大きく異なる可能性があります。
したがって、本資料の記載内容は将来の業績を保証するものでありません。

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、
更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の作成において生成AIを活用しています。記載内容については、
原資料・一次情報等との照合を行い、最終確認の上、使用しています。

END